

総務

コンビニ収納の導入

11月10日 協議会開催

納税者・納付者への利便性を高め、あわせて納期限内納付の推進を図り、督促・発送業務の削減を図るため。

Q 導入までの、事務費用は。

A テストを行う費用と、納付書を全部刷り直す費用がかかる。

Q 手数料はいくらか。
A 1件60円かかるが全額町が負担する。

Q 収納代行業者とは。

A コンビニ会社に代わって税金を収納する業者である。

Q 業務開始は。
A 平成28年4月から。

消防指令業務の共同運用

岡崎幸田地域消防通信業務研究会は作業部会を設け、共同運用に関し検討をおこなう。

Q 財政面でのコストは。
A 町単独でおこなうと2億7400万円、共同運用の場合は2億4700万円である。

Q 人員の削減は。
A 通信員として6人で運用しているが、4人になる。



コンビニ窓口



富山市のライトレール



11月12・13日、富山県富山市、南砺市を視察

公共交通を軸としたコン

公共交通の活性化とまちづくり

パクトなまちづくり
人口減少、高齢化の進展などに対応するまちづくり、効率的な都市運営をおこなうため鉄軌道（ライトレール）

ルをはじめとする、公共交通を活性化させ、沿線に居住推進地区を設定してまちづくりがおこなわれている。

その効果として転入超過、市内電車の利用者数も増加に転じて成果が上っている。

南砺市

公共施設再編計画

平成16年11月に4町4村が合併、合併前に建設した公共施設をそのまま引き継いでおり、行政財産として1206施設を保有している。人口規模の類似した自治体と比較しても大変多い数であり、将来にわたり維持管理していくことは財政的にも相当困難な状況となっている。

平成23年公共施設再編計画を策定し、計画に基づいた見直しがすすめられていた。

三ヶ根駅東口広場 改修工事

産業建設



三ヶ根駅東口のロータリー

11月6日 協議会開催

三ヶ根駅東口広場の改修工事の計画概要が示された。改修工事545万円の内容は。

- A** 前年度トイレの改修工事をおこなった。その跡地を利用し、駅前ロータリーの改良整備をする。
- Q** ロータリーの中の空地はどのようにするのか。60周年記念事業ということで植樹をおこなう。

各種公共工事の進捗

平成26年度事業、500万円以上工事の進捗状況。土木事業は野場区石荒の側溝改良工事を始め4件、2281万円。
水道事業は芦谷地内の重要給水施設排水管布設工事を始め13件、1億8209万円。
下水道事業は六栗地内の公共下水道築造工事を始め16件、2億4755万円。

遊水地公園など視察

10月16・17日 埼玉県久喜市、加須市、神奈川県横浜市を視察

久喜市

渡良瀬遊水地は、利根川と渡良瀬川の合流点にあり、日本最大の遊水地である。面積は33km²・貯水容量1億7000万m³を誇る。遊水地は昭和45年から平成7年にかけて完成し、供用されている。

遊水地内には、下流の水道用水、運動公園など多くの利用がされている。

加須市

道の駅きたかわべには、農産物直売施設「いな穂」農村レストランが併設され隣接して「北川辺スポーツ遊学館」があり、防災施設もかねている。

横浜市

鶴見川多目的遊水地は、都市近郊の住宅開発がすすんでいる地区にあり、運用開始は平成15年6月で過去



鶴見川多目的遊水地

10年間に11回の流入実績がある。

面積は84ha、総貯水量は390万m³であり、構造物は※ピロティ方式で建設されていた。遊水地内には日産スタジアム、都市計画道

路、運動公園など有効に活用されている。

※多くの柱を立て、その上に建築する方法。

文教福祉

11月5日 協議会開催

平成27年度から始まる新しい支援事業（素案）の5年計画が作成された。

Q 対象となる子どもたちの動向は。

A 今後の宅地開発の動向を踏まえ、調整する。

新子育て支援計画（案） まとまる

Q 3歳未満児保育の二一

ズ調査結果との整合性は、

A 現状15%弱を、5年間で5%増の20%とした。

Q 公立の施設をふやさな

い方向で対応できるのか。

A 認定こども園など民間の活力を生かした事業誘致で対応。

Q 出産後の育児ケアは、

赤ちゃん訪問事業や児童虐待対策会議で対応。

新しい保育料（素案）

保育料が、所得税による

ものから住民税による階層区分に変更となる。

Q 利用者への影響は、

増額が187人、減額が91人。

A 増額の最高額は、月5000円。

Q どう説明するのか。

A 国の制度の変更によるものと理解を願う。



子ども・子育て支援新制度パンフレット

幸田小の教室不足は 増築で対応

11月13日 調査会開催

児童の増加により、幸田小学校の教室不足が予想される。

Q 整備完了の予定は、

A 平成28年度末までに増築を完了したい。

Q 今後のすすめ方は、

A 地元の声を聞きながら、27年度中に実施設計、28年度末に工事完了を目指す。

Q 地元への説明は、

A 地元の建設住民委員会を11月半ばに、第1回をおこなった。短期間で集中的におこない、意見集



鷺田区内の通学風景

約に努める。

Q 児童が1100人もい

る大規模校になるが。

A 33年度以降、緩やかなカーブで8500人くらいになると予想。

北部中学校

体育館フロア改修

Q 改修を平成30年に実施

する理由は、

A 北部中学校の増改築計画に合わせた。

Q 将来400人が800

人の規模になるが。

A 体育館も、800人規模の学校整備の中で考えていく。

「みんなでつくる 元気な幸田」

総合計画

11月4日 協議会開催

今後10年間のまちのあるべき姿として、第6次総合計画策定に着手。その内基本目標の第1章・第2章を協議

第1章「安全・安心」
いのちと暮らしを守るぞ

Q 自主防災会に参加しやすい施設展開と発信を。

A 防災力強化と防災活動の支援の強化を推進する。

Q 消防整備基本計画は、最上位の方針を持つてくるべきでは。

A 町民にわかりやすい身近な表現にまとめていく。

第2章「環境」
自然豊かに美しく

Q 資源回収活動を「支援」するは「推進」に。

A 検討する。

Q 住民参加を盛り込み、10年後実現したい姿を表現すべきだ。

A 理念や概念は変わらないう。今ある課題の取り組みをする。

Q 手づくり感はあるが、表現が概論と各論とが混合している。

A 「あるべき姿」へのアプローチをどうしていくか検討する。



消防出初め式

「住民協働」の総合計画策定を視察

10月23日 田原市、10月30日 尾張旭市を視察

田原市

「改訂版・第1次田原市総合計画」は合併により、実情にあつた見直しで、急激な社会変化や価値観の多様化に対応できるまちづくりを進めるため策定。

市民意見集約手法として、各種団体等をメンバーとする、まちづくり市民会議、市民意識調査、パブリックコメントなど、住民参画を基本理念として様々な形で市民参加で取り組まれている。



田原市



尾張旭市

尾張旭市

尾張旭市第5次総合計画策定の趣旨は、目標管理とめざす姿と、その達成度を

測るモノサシとして成果目標を設定。

長期的かつ普遍的な市民共通のより魅力のあるまちづくりの理念として将来の都市像を定めた。

市民意見集約の手法として、市民の意向調査や各団体、校区懇談会、中学生、転入・転出者アンケートを実施。

広く市民の声を意見集約され、独自性が生まれるよう取り組みがされていた。

商店街活性化事業を視察

総合開発



若い人にも人気

10月20・21日 東京都巢鴨地蔵通商店街と神奈川県大和市を視察
 巢鴨商店街
 JR巢鴨駅から800mにわたる商店街で、全国的にもおばあちゃんの原宿として有名である。
 とげぬき地蔵のある高岩寺にも多数の人が訪れる。商店街は195店舗中75%が、自宅兼店舗になっており小売り販売が多い。
 若手の商店街組合員がフェイスブック、ホームページ、テレビ、マスコミを利用し全国に発信している。

大和市
 大和駅周辺地区において文化創造拠点を創出することを推進している。
 「文化交流が盛んなまち」の実現を図るため公益施設として、芸術文化ホール、図書館、生涯学習センター、こども広場、民間施設、店舗、神社などの複合ビル建設を官民連携事業として取り組んでいる。



▲名古屋大学
減災連携研究センター



◀子どもたちも見学

10月31日 協議会
 地域の防災力向上で、23年10月から、職員1人を名古屋大学減災連携研修センター

防災対策

町の防災テーマを持って研修を

ターに派遣していることなどを協議。

Q 18人の派遣中、市町職員5人。あとは企業派遣者だ。自治体の業務分野と相入れぬが。

A 自治体職員派遣は、幸田町が一番早い。企業派遣が多いのが実態。

Q 派遣職員は、町独自のテーマを持つての研修か。
 A 研修テーマは地域防災力向上で、町にとつて有益な情報を得ることにもなる。

Q 町職員は3〜5年で人事異動がある。研修成果が生かせるかは疑問だ。
 A 今まで名大に派遣された職員はいない。さまざまな分野に派遣し、成果を持つてきている。西三河9市町の防災応援協定も成果の一つだ。

Q 災害時要支援者への対応は。
 A 本人手上げであり、思うにまかせない状況です。すんでいない。

Q 深溝断層以外、他学区の災害特性もある。名大での研修内容は。
 A さまざまな分野の教授もいるので関係深める取り組みをしている。



シェイクアウトの訓練

question
防災訓練に「シェイクアウト訓練」の導入を。

平成25年6月定例会
酒向弘康 議員
「シェイクアウト訓練」
導入を

その後

平成25年度から参加表明
26年度開催の防災訓練での
参加実績は、約1900名
であり、今後も継続してい
く。

愛知県が9月1日に実施
予定。本町も町民に参加啓
発につとめ、新たな訓練と
して前向きに検討する。

あの答弁は
どうなったの!

追跡
一般質問その後

議会広報視察来町（平成26年4月～12月）

11市町村・94人

7月 2日	宮城県加美町議会	8人
7月 8日	静岡県吉田町議会	8人
7月 14日	香川県三木町議会	8人
7月 18日	京都府木津川市議会	9人
8月 28日	長野県宮田村議会	6人
10月 28日	奈良県安堵町議会	14人
10月 29日	和歌山県海南市議会	8人
11月 17日	鳥取県日吉津村議会	6人
11月 18日	広島県三原市議会	8人
11月 26日	広島県坂町議会	9人
11月 27日	小牧市議会	10人



伊藤宗次議員
在職35年以上
大臣感謝状

平成26年10月17日、総務大臣感謝
状が伊藤宗次議員に贈られました。
この表彰は、議員在職通算35年以上
の永きにわたり、地方自治の振興に
寄与された功績によるものです。

議員の寄附行為の禁止

政治家（後援団体）が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、
法律で禁止されています。

また、皆さんが政治家に寄附を求めることも禁止されています。
たとえば、

- ・お祭りや運動会など、地域行事への寄附や差し入れ
（催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合は除く）
- ・お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- ・年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状（答礼のための自筆は除く）

※地域で行なわれる行事などで、会費
や実費の伴うものの案内をする場合
には、会費を必ず明示して通知して
ください。

